



津坂 美樹

ボストンコンサルティンググループ
シニア・パートナー &
マネージング・ディレクター

経済同友会 つながる▶▶

リレートーク #210

小椋佳先生と謳う青春



津坂 純

日本産業推進機構
取締役社長・創業メンバー

妻からリレーを指名されるのは、事務局によれば初めてだそうです。「恐れ多い」とは、このようなことを言うのでしょうか。

小生は現在、株式会社日本産業推進機構で日本の地域経済の活性化を目指し、中堅・中小企業向けに成長資金やビジネス・プロセスの改善に役立つノウハウの提供や、人材の教育・補強などを行い、日々汗を流しております。これらにいつも前向きに、楽しく、情熱的に精力を傾けられるのは、先輩、同僚、家族などの多くの方々に支えられているからだと確信しております。感謝の気持ちでいっぱいです。

趣味の分野に属しますが、近年このことを特に痛感するのは、所属する合唱団での活動です。小生のように音楽に非才な団員も歌の仲間に加わっているのですが、14人の団員と一緒に歌い始めると、不思議なエネルギーと友情に包まれ、「^{みなぎ}生きているんだ」という実感が全身に漲ってきます。

合唱団の名前は、“JOLLY JOKERS”（愉快的仲間）。立派な名前まで付けさせていただき、天使の歌声を持つ伊東えり先生のご指導の下、かのシンガー・ソングライター小椋佳先生のコンサートに年二回ほどバックコーラスとして出演させていただいています。四年前の大宮ソニックシティホールでのデビュー・コンサートでは、3,000人の前で笑顔で堂々と「赤恥」をかかせていただくという光栄に浴することができました。一生ものの、これ以上ない経験でした。小椋先生には、感謝の至りです。

月二回集って練習を行い、練習後は焼き肉屋で団員と小椋先生を囲んで「お疲れさま会」を楽しんでいます。平均年齢が65歳なので、仕事、家族、ゴルフ、さらには賭け事の成功の秘訣から悩みの相談まで、先輩方から学ぶことが盛り沢山です。おなかを抱えながら一緒に笑える“JJ”。仲間がいることの幸せを感じます。

経済同友会においても、大切に友の輪を広げ続けたいと思っております。小椋先生が作詞されたJJテーマ曲の歌詞にあるように、青春にさらばを告げるのはまだ早い。これからも、友と共に目標を常に追求して、懸命に生きていきたいです。

懸命に生きてみて この胸に底どまる

あれこれの 物の思い 解き放ち伝えたい

胸揺らす歌 胸を打つ歌 声を重ねて歌を合わせて

それぞれの 身勝手が 心地よい 仲間

気が付けば 甦る 青春

▶▶ 次回リレートーク

西村 豊

リシュモン ジャパン
取締役社長